



まなブン通信

平成28年度

Vol.21

学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整えていくことを目的としている学校サポーターズクラブ事業。「まなブン通信」では各学校で行われた活動の様子を紹介していきます。

今回は、7月20日に行われた瀬戸谷中学校「まごころ隊」の活動を紹介します！

この日、瀬戸谷中学校「まごころ隊」のみなさんが上滝沢老人いこいの家で紙芝居・パペット等を披露し、地域の方々も大勢集まって、大いに盛り上がりました！！



初めに紙芝居「三枚のおふだ」を披露。続いてパペット「山の動物たち」を披露し、**大変盛り上がりました！**



折り紙を地域の方々に教えています。



鶴はなかなか難しい……………



兜や風船も作りました！！



全員で「ふるさと」を合唱！



大きな声で歌っています！！



素晴らしい合唱でした！！！！

まごころ隊とは・・・

瀬戸谷中学校「総合的な学習の時間」において学年・学級の枠を超えた1・2・3年の縦割りで構成された13人からなるグループ。「地域福祉」を理念とした活動を行っています。

みんなで楽しく遊んだあとは、参加していただいた地域のみなさんに自己紹介をしてお別れです。おじいちゃん・おばあちゃんの名前を言う、「あ～～～～！」という声や「似てる、似てる！」といった声が聞こえてきて、地域の方々にとっても、子どもたちとの良いふれあいの時間になったようでした。瀬戸谷地区の学校サポーターのみなさん、いつも本当にありがとうございます。

